



発行所
西原村役場
電話(09894)⑤-5011~3
印刷
西原印刷

村の世帯・人口		(昭和52年11月末日現在)	
世帯数	3,489	人口	1,5214
人		男	7,718
		女	7,496
11月の人口移動		出生	25
		死亡	6
		転入	97
		転出	68
		婚姻	32
		離婚	3

懸案の村史編纂に着手

村内外へ資料提供を呼びかけ

村民待望の村史編纂については予ねてから村としては計画してきましたが、去った十一月二十五日午前十時、村役場において、次の八名を村史編纂委員に辞令を交付し、いよいよ本格的な作業段階に突入することになった。

委員は新垣良康氏(元校長)、

玉那覇馨氏(元村長)、大城孝敏氏(元助役)、仲宗根英輝氏(教

育委員長)、城間光雄氏(農業協

同組合長)、小波津健氏(小波津

出身)、平安恒政氏(助役)、小

川正元氏(教育長)となっており

各委員とも意欲的に取りくむ姿勢

であり村としてもその活躍に期待

をかけている。

この村史編纂については、戦災

で諸々の資料を失ない戦後三十年

余を経た今日では、村史編纂に取

組むことは幾多の困難が予想され

る。

後世に本村の歩みを理解しても

らい、村の発展を期するために今

回の村史編纂となったわけです。

そこで、村としては、村民及び

村内外の機関、知人、友人等多数

の方に次の資料提供依頼を呼びか

けております。

一、古い資料

① 本村の実体が把握出来そう

な新聞切り抜き、文献、日

誌、日記等の記録

村民の過去の生活様式等が

解明出来るような農具、作業



村史編纂員の辞令交付式(村役場にて)

- ① 村内の過去の状況がわかる
- ② 村民の過去の生活様式等が解明出来るような農具、作業機器、家具、玩具等
- ③ 村内の公共施設の写真(学校、役場、郵便局等)
- ④ 建築様式がわかるような民

急ピッチで進む生活基盤整備

生活基盤整備

この資料については、贈呈なされる方々を除き、責任をもつて、御本人にお返し致します。

- ① 村史編集に関係すると思われ文献等の紹介
- ② 口碑伝説の紹介
- ③ 芸能文化紹介

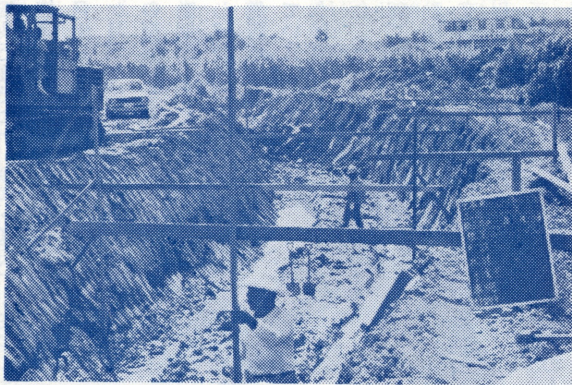
〔注〕

村民の日常生活に直接影響する土木工事土地改良事業教育条件整備についてはきびしい財政の中で特に配慮し予算計上に当たっても、優先的に配分し、村民の要求に答えるべく努力しており、現在も村内各地で工事施工中であり、工事施行に伴ない生活環境は一段と整備され、快適な新春を迎えることができるかと村民から期待されている。

現在施行中の主要工事は、次の通りです。

道路関係では、我謝地内道路拡張工事延長三四〇メートル、工事費二七、九五〇千円、金秀前防護柵工事延長一、一一八メートル、工事費六、九〇〇千円、翁長幸地線道路改良工事、延長三三〇メートル、工事費一八、四〇〇千円、温泉裏道路改良工事、延長五二メートル、工事費六、三〇〇千円、津花波上原線道路改良工事、延長四五八メートル、工事費六、一〇〇千円。

土地改良事業では、棚原地内排水改修工事、延長五五二メートル、工事費二七、〇〇〇千円、小波津川下流排水改修工事、延長四三六メートル、工事費五〇、一三二千円、準用河川工事では、小波津川改修工事、一五六メートル、工事費一三、八〇〇千円、兼久川改修工事、延長一四五メートル、工事費一三、八〇〇千円、都市計画事業では、我謝地内都市下水路整備事業、延長五五七



着々と進む排水路工事(棚原地区)

村民生委員改選される行政区より各一名選出

行政区より各一名選出

十二月七日午後一時半、ゆうな荘において、本村の新しく改選された十六名の民生委員の皆さんに、厚生大臣(小沢辰男)と沖繩県知事(平良幸市)より、民生委員・児童委員の委嘱状が手渡された。



「頑張ってください」と委嘱式(ゆうな荘にて)

メートル、工事費三二、〇〇〇千円。

学校関係では、西原中学校のプール建設工事、建設面積三七五平方メートル、工事費五〇、六五〇千円、西原幼稚園園舎建設工事、建設面積一七五平方メートル、工事費一九〇七千円となっており建設課職員も、年末のしめくり急ピッチで工事が進むよう日夜がんばっています。

終了した。その後、民生委員の皆さんには、民生委員制度について、民生委員活動について、福祉事務所の紹介等についての研修が行なわれた。

十二月一日の民生委員・児童委員の全国一斉改選に伴い本村も、従来の十二名の民生委員を一律に十六名に増し新しい行政区に対応した民生委員を選ぶことになった。

そこで、村民生委員推薦委員会(委員長、平安恒政、他六名の委員)は、十月十四日村役場委員会室において、推薦会を開き、行政区の各区より一名、社会奉仕の精神に富み、人格見識ともに高く、生活経験が豊富で、円満な常識をもち、情理をわきまえ、地域の住民が気軽に相談できる人を対象に計十六名の民生委員を推薦した。そして県民生委員審議会を経て、厚生大臣が委嘱するはこびとなった。

ところで、民生委員の仕事は、低所得者の自立更生の援護、老人、身体障害者、母子、精神薄弱者等の福祉向上及び公的社会福祉施策への協力等広範囲にわたっています。本県において、民生委員制度ができて五年足らずで、地域住民には、その制度がよく知られてない実情であります。住民参加の福祉行政が円滑に行くには、その制度を住民がよく知ってもらい、低所得者、老人、身体障害者、母子家庭等の弱い立場にある者を救済すべきではないでしょうか。

今回改選された十六名の皆さんには、今後(三年間)の活躍を期待したいものです。尚、改選された民生委員は、次の通りです。

比嘉千代(一区)、伊波善英(二区)、石原昌英(三区)、呉屋幸夫(四区)、富浜義雄(五区)、城間千代子(六区)、大城静子(七区)、玉那覇馨(八区)、仲松民子(九区)、大城栄一(十区)、宮平春子(十一区)、伊集盛光(十二区)、新垣静子(十三区)、金城澄(十四区)、浦崎ミヨ(十五区)、呉屋嘉真(十六区)

村産業展示会

盛況のうちに終了!!

二千余の参観客

恒例の西原村産業展示会は、今年もまた役場ホールと役場前広場の両会場で、十二の四日、五日の二日間に行なわれ、二千余の村民の参観でにぎわいをみせました。

役場ホールの会場には、農家自慢の豊に実った、キャベツ、キュウリ、ネギ、大根、人参、山イモ等の農産物が百一点、生活改善グループを中心にお互いに研究し合っ作った自前のミソ、つけ物、ワイン等の農産加工品が二百二十一点、それに自らのアイデアで創意工夫した夏ぶとん、子供服、テーブルセンター、装飾品等三工芸が百二十点と多数出品されましたが、それぞれが力作秀作を逸品ばかりで、参観者も感心する

次に各部門の入賞者を紹介します。

正玉那覇佳秀、小橋賢、喜屋武有栄、宇久田朝秀、泉川寛隆、仲宗根亀、具志堅興善

【入賞】真志喜和子、喜納恵子、玉那覇ツル子、比嘉千代、仲宗根ヨシ子、新川千代子、新垣美津子、安座間美江子、小波津ヨシ子、呉屋光子

【優秀賞】パパヤのみそ漬・沢嶋静子（農協長賞）

【優秀賞】小菊普通盆栽・弓削次男、小菊県懸屋（前垂れ）・宮平光雄

【入賞】小波津千代子、仲宗根秀子、翁長春子、仲宗根春、与那嶺和子、翁長シゲ、呉屋光子（二点）、仲宗根ヨシ子、沢嶋静子（二点）、小波津カメ子、田場タケ、宇久田悦子、山城和子

【農協長賞】大菊福助づくり・新城良一

【入賞】玉城善長、新川統信、外間久一、宮平光雄、与那嶺敷、宮平光勝、平良正行、小川正元

【入賞】小波津千代子、仲宗根秀子、翁長春子、仲宗根春、与那嶺和子、翁長シゲ、呉屋光子（二点）、仲宗根ヨシ子、沢嶋静子（二点）、小波津カメ子、田場タケ、宇久田悦子、山城和子

老人の意気を示す

老人クラブ作品展示会

十一月二十六日、二十七日の両日村役場ホールにおいて、老人クラブ主催の老人クラブ作品展示会が開かれた。

参加人員は一三四名で、主な出品物は、ボタンの花、バラの花、デイゴの花、子供用帽子、着物、漬物、焼物（ハイザラ）、和用バック、和用サイフ、赤みそ、梅酒等で計三六〇点の出品があり、産業展示会にも優るとも劣らない盛況ぶりであった。

この催しは、老人学級又は、余暇を活用しての自宅研究創意工夫の成果を作品展示により老人の意気を若者に知らせる趣意を促す意味もあり、審査なしに展示された。

盛況を見せた産業展示会

【入賞】翁長三郎、稲福政之、稲福春子（二品）

【入賞】嘉憲一、宮平カミ、平良昌亀、宮平正保

【入賞】石原昌一、新垣良吉、稲福恭一、稲福恭

また日頃の老人クラブ活動状況も写真展示により一般や会員に披露された。

この展示会に参加された老人の方々は、いきいきとした笑みをうか

年末年始の交通安全県民運動実施中

昭和52年12月10日～昭和53年1月9日

沖縄県交通安全推進協議会では、十二月十日から向う一ヶ月間を年末年始の交通安全県民運動期間として設定し、交通事故の未然防止を呼びかけています。

本村の交通安全協議会（会長宮平吉太郎）でも、この運動期間中、村民の交通安全思想の普及、徹底につとめ正しい交通ルールを守り、事故のない楽しい正月が過ごせるよう広く呼びかけをしています。



◎車を運転する来客には、絶対に酒類を出さない。
◎無免許運転をしない、させない。
◎幼児のひとり歩きや、子供の路上遊びをさせない。

このマークは、県民の人気投票により選ばれた。昭和五十三年七月三十日に行なわれる交通方法変更に向けてのシンボルマークです。皆なで七月三十日の略省「七三〇、ナナサンマル」を相言葉に変更に無事故でスムーズに、交通区分の変更ができるよう協力していきましょう。

不動産取得税のあらまし

(1)不動産取得税とは
不動産（土地や建物）を売買、交換、贈与、新築、増築、改築などによって取得した場合に、その取得した人に課される税金です。

第一回歳末助け合いチャリティーゴルフ大会

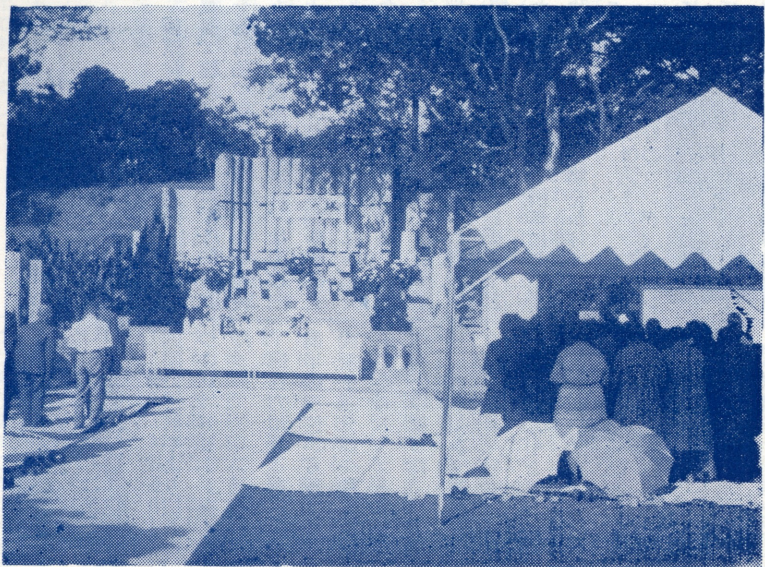
村商工会（会長、小波津健）は十二月九日午前七時午後六時沖縄カントリークラブにおいて、歳末助け合いチャリティーゴルフ大会を開催した。

大会運営で上げた収益金より、社会福祉協議会に歳末助け合いの義援金として、金三十万円が寄贈された。

大会は、商工会員及び村民より約二二〇人の参加があり、A、B、Cの三つのフライトで行なわれた。

成績は、次の通り。
▲大会チャンピオン 田端肇
▲商工会長杯（Aフライト） 親川朝光
▲村長杯（Bフライト） 屋比久孟吉
▲沖縄カントリー杯（Cフライト） 平田正幸

御霊よ安らかであれ と冥福祈る 村戦没者33回忌慰霊祭



2,000余柱の戦没者に黙とう（西原の塔にて）

西原村は十月二十八日午後二時より、西原の塔において、村内で戦没した二千余柱の福を祈つて、西原村戦没者三十三回忌慰霊祭をしめやかに挙行政した。

慰霊祭は、県外から独立歩兵第三十一大隊の遺族及び生存者五〇人

余、村内外から二五〇人余計三〇〇人余の参列のもとに、先ずはじめに二千余柱の冥福を祈つて全員黙とうをささげた後、読経が行なわれた。

その後、式辞（西原村長、宮平吉太郎）、追悼のことば（西原村遺族会長、翁長正昌、その他二名）、献花（二十二名）、弔電朗読、一般参列者焼香、遺族代表謝辞（金城澄）と続き、慰霊祭は厳格そのうちに午後四時終了した。

参列者の大半は、年をめされた老人で我々の三十三回忌とあって、緊張した面持で、焼香する際、目頭をおさえる老人も多数見られた。それを見た戦争を知らない者にも、子供を戦争で失った悲しみが伝ってくる程訴えるものがあった。中にはうなづきながら参列し、杖をついた九十歳の老人がいて参列者の目を惹きつけた。いたましい遺族の苦悩が、三十三年すぎた今日も、生々しくうつった。

「御霊よ安らかであれ。」と祈願する意味で、来年以降も、慰霊祭の継続がのぞまれる。

養豚団地を目ざす私達のクラブ活動

西原南国養豚グループ

城間敏夫

去る十一月十八日に、開かれた県主催の昭和五十二年度中央農村漁家生活改善実績発表大会が（農業の部）で本村の城間敏夫（西原村南国養豚グループ）さんが「養豚団地を目ざす私達のクラブ活動」と題して発表し、大きな拍手をあげました。その話の内容といひ話し方、態度といひ堂々たるもので建設的に明日の農業を支えて行くことに情熱をこめて働いている青年農業者の意気を感じた聴衆に深い感銘を与えました。

また、本村の幸地生活改善グループがアトラクションとして琉舞の谷茶前も披露し躍動する本村の生改グループの心意気を内外に示し拍手をあげました。

次に城間敏夫さんの発表要旨の全文を紹介します。



堂々と弁論する 城間敏夫さん

上位の成績を収めており、村当局や飼育者の生産意欲もますます高まっております。

私の現在に至るまでの経過と経営規模

昭和四十五年、南部農林高等学校校定時制、農業科を卒業後畜産試験場に研修生として入所、畜産全般についての知識と、人工授精の免許を修得しました。その後、本土にわたり、埼玉県の牧場で二ケ年間、養豚専業としての研修を修得して来ました。

県畜産共進会で経産豚優等賞

村より牛一頭、豚三頭出品

県畜産共進会協議会は、十一月十四日（十六日）南部畜産常設セリ市場（東風平村）において、県内の市、郡大会で最優秀を経た優良な牛、豚を一室に集め、県下の優良牛、優良豚を審査するため、第四回沖縄県畜産共進会を開催した。

大会は、肉用牛（三六頭）、乳用牛（二〇頭）、種豚（五五頭）、肉牛（十六頭）、肉豚（七組）の六部門が審査対象になった。本村からも、種豚の部で三頭、肉用牛の部で一頭の出品があつた。

昭和四十八年から、自営のため母豚一頭からスタート、現在のランドレースを主体に仔豚生産としての三〇頭規模に成長しました。

私の経営規模と飼育頭数

母豚 三〇頭、種雄豚 二頭、育成豚 四五頭、哺乳仔豚 四七頭、豚舎 五五坪、運動場 三〇坪、飼料畑 三〇〇坪

飼食の内容はトウモロコシ、フスマ、配合飼料、青物（カズラ）を混合して給与しております。

グループ員の経営の実態

私達南国グループ員の年令は、二〇代三名、三〇代三、四〇代二名五〇代二名の計一〇名の副業養豚農家の集まりで、一貫経営を志す者であるが、屋敷内とか部近近くで経営がなされているため、経営規模拡大が出来ず、現在は仔豚生産の行われている経営形態です。グループ員の現在の飼育頭数は、母豚一四五頭、種雄豚一三頭、肉豚一〇〇頭、豚の品種はランドレース、大ヨーク、ハンブシャーと経営の中で繁殖素豚生産、肥育素豚の生産を主体にしています。また、優良種豚の購入、先進地視察研修と技術交流として静岡県より大ヨーク、ハンブシャーを購入、良い成績を収めております。

す。

なお、我々のリーダーである城間正保さんはグループ結成以来の会長をつとめ、又西原村の養豚組合長でもある。

城間さんは沖縄での養豚経営は、種豚や母豚の品種改良と計画生産で対応しなければならぬと絶えず強調していますが、立派なリーダーを得て我々若い会員も心強く経営に専念しています。

IV 南国養豚グループ活動の経過と成果

私達のグループ活動は、毎月一回の定例会を定め、情報の交換として

1 繁殖飼育管理、衛生技術、経営技術

2 優良種豚の購入

3 先進地の視察研修

4 飼料の共同購入と自家配合の研究

5 仔豚の販売路（現在、具志川市の仔豚セリ市を利用）

6 経営記録簿の記入

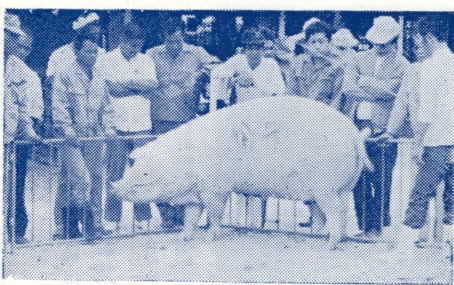
その他経営に関する懇談会を行っています。

グループの活動で取り上げた改善

1 優良種豚育成と繁殖回転率、電用年数一〇産を目標に運動場購入、良い成績を収めております。

肉用牛一頭、種豚三頭出品

式等賞二席一与那嶺栄幸（幸地）



みごとと優等賞に輝く

2 哺乳中における母豚の飼育管理、育成率の増加として飼料の適正給与と青物の給与

3 仔豚の事故防止の為に分娩棚と保温箱の利用

4 仔豚の下痢発生予防にノコクズを利用し、乾燥した豚房にしています。

5 仔豚の貧血予防に鉄分の補給を行っています。

6 仔豚の離乳においては、分娩室から母豚の移動をしている。グループ員は、繁殖飼育管理上これらの改善策を取り入れて良い成績を収めています。

V 南国養豚グループ活動の今後の方向

私たち、西原村の養豚家六五戸の飼育頭数は約二千頭前後で、ここ四五年、目立った増減はないが、飼育農家人口は減る一方である。その理由として、近年の人口増加に伴ない、住宅が密集してきて屋敷内養豚が周囲の住民に悪臭等の公害の問題で規模の拡大が出来ず、苦しい経営状態にある。

経営技術面に対しては、やや向上していますが零細的な経営規模の面から見て、規模の拡大、適地選定、畜舎の改善、品種の改良、飼料対策、畜産公害の対策などを早急に実現しないかぎり所得の増収は図れない。

私たちグループ員が着実な專業農家を育成するは今後、養豚団地建設により敷地拡大を図り、各各飼養農家当り二〇〇〜三〇〇頭規模にして、種豚と生産仔豚と肉豚の一貫経営にする。

公害問題となるフン尿処理は、固形物と尿を分離して固形物、尿ともに農作物との有機的結合をはかり、畑地還元にする処理計画です。今後の養豚振興に重点をおき地域環境の汚染がないように適地選定を行い、養豚団地造成による規模拡大を計って私たちグループ員も今後の目標をめぐして明日に結びつく養豚経営として頑張っていくかと思ひます。

内間チーム堂々の六連勝

第十三回西原村青年駅伝大会

西原村駅伝実行委員会（実行委員長、喜屋武哲治）は、十一月十七日に、村内各区青年会の親睦と融和を深めると共に、体力の向上とスポーツ精神の高揚を目的として、第十三回西原村青年駅伝大会を開催した。

大会は、村内青年会より八チーム、オブザーバー参加として消防学校より一チーム計九チームで行なわれ、各チームとも例年になく最強のメンバーで優勝をかけてレースにのぞんだ。

秋深まる絶好のコンディションに恵れ午後一時十五分の出発号砲で、全選手は、村役場前を一齐にスタートし、大会役員及び白バイ三台を先導に、選手は、昨年と同じコース（コザ高折りかえし）六

区間で、前半より抜きつ、抜かれつ、後半は、村役場前（三区、区間新十三分四秒）の健闘により三位からトップと五メートル差で四区と中継した。城間良信（四区）は、前半（コザ高折下坂）で、消防学校チームを抜いてトップに立ち、各チームとも例年になく最強のメンバーで優勝をかけてレースにのぞんだ。

各チームの成績

順位	チーム名	記録
優勝	7区（内間）	1時間59分47秒
2位	11区	2時05分30秒
3位	消防学校	2時06分19秒
4位	7区（小橋川）	2時08分36秒
5位	13区	2時09分35秒
6位	14区	2時13分15秒
7位	1区	2時17分37秒
8位	10区	2時19分57秒
9位	4区	2時32分35秒

従来村青年連合会主催で行なわれていた大会は、村青年連合会がない状態の中で、実行委員会で行なうことになった。来年の大会からは、これを機に村青年連合会を結成し、従来通りの大会にしたいという声も高いようである。尚成績は次の通りです。



9 チーム一斉にスタート（村役場前にて）

各区間の成績

区間	氏名	チーム名	記録
1区	与那城 実己	14区 消防学校 高校	24分18秒（新） 25分13秒（旧） 26分01秒（旧）
2区	平親大 良泊城 雅輝義	13区 11区 7区（小橋川）	20分16秒 21分11秒 21分12秒
3区	新与那 垣嶺芸 紀与	7区（内間） 消防学校 11区	13分41秒（新） 14分16秒（旧） 14分42秒（旧）
4区	小新城 橋見 茂良 隆夫信	13区 11区 7区（内間）	21分27秒 21分35秒 21分53秒
5区	諸平上 里田地 弘一則	7区（内間） 1区 11区	13分57秒 15分04秒 15分08秒
6区	与大伊 儀城芸 善政弘	7区（内間） 7区（小橋川） 11区	22分33秒 23分47秒 24分46秒

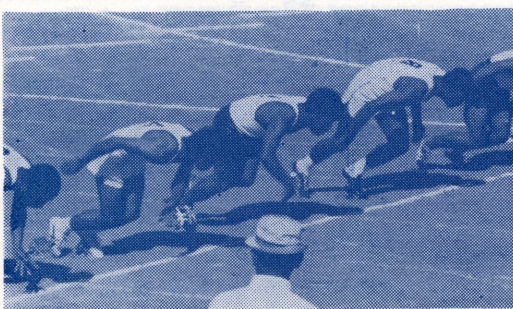
村代表十九種目に入賞

久々の快挙

第五回中頭郡陸上競技大会

去る十月二十三日、沖縄市宮陸上競技場において、第五回中頭郡陸上競技大会が開催された。

今大会の参加団体は、石川市以外の郡内四市を除く九市町村で男子の部、三二種目、女子の部、十一種目に覇を競い本村も、男子、二七人、女子、九人、総勢三八人の選手団を送り込み、村代表選手は各種目に健闘を見せ、百米一般男子をはじめとして十九種目に入賞するという久々の快挙をなした。陸上沈滞ムードにあった本村において、今大会にこのような成績をおさめたことは意義深いことであり、来年の郡大会にかけの期待は大きいものと体育協会



一般男子百米決勝スタート

第5回中頭郡陸上競技大会の成績

種目	氏名	順位
一般男子 100m	喜屋武 哲治	6位
200m	城間 正和	6位
400m	城間 儀善	5位
800m	与那城 実	5位
1,500m	与那城 実	4位
5,000m	大城 豊功	5位
10,000m	大城 真一	4位
3000m 棒高跳	喜屋武 城間新川	5位
400mR	喜屋武 小波津	5位
1,600mR	城間(利) 伊芸新垣	5位
30代 1,500m	嘉手苺 春男	3位
40代 円盤投	大城 盛健	5位
800m	瑞慶 寛三	6位
砲丸投	与那城 儀善	6位
50代 100m	安里 光雄	3位
一般女子 800m	城間 つや子	3位
砲丸投	城間	2位
走巾跳	城間 則子	3位

相続の限定承認について

相続人は、原則として、被相続人の有していた財産だけでなく、負債も相続しなければならぬが、必ず相続しなければならぬとすると、相続人にとって大変気の毒なことになる場合がある。

そこで、相続人を保護するため、相続はするけれども負債は財産の限度で支払えば足りるという「限定承認」の制度がある。

- ① 限定承認をするためには、相続人になったことを知った日から三か月以内に財産目録を添えて家庭裁判所に申述しなければならぬ。
- ② 相続人は、原則として、被相続人の有していた財産だけでなく、負債も相続しなければならぬが、必ず相続しなければならぬとすると、相続人にとって大変気の毒なことになる場合がある。
- ③ また、この手続は、共同相続人全員を申述しなければならない。
- ④ 尚、詳しい事については、那覇家庭裁判所にお問い合わせ下さい。

固定資産税 第二期分納期限

十二月二十五日

固定資産税の昭和五十二年第二期分の納期限が十二月二十五日となっております。未だ納付してない方は、お早目に納めて下さい。なお第一期、第二期分未納の方も、合わせて納付して下さい。また、村民税、県民税、の納期限も、昭和五十三年一月三十一日となっております。納期限を遅れますと延滞金（年率十四、六％）がつきます。

さらに、昭和五十三年二月十六日（三月十五日）は、昭和五十三年度の村民税の申告と所得税の確定申告の期間となっております。その他詳しい事は、村役場税務課までお問い合わせ下さい。電話でもけっこうです。

予防接種の注意

- ① 次の場合には受けられません。
 - ① 熱が三十七、五度C以上の場合。
 - ② 発作を繰り返す状態にある場合。
 - ③ アレルギー体質。
 - ④ 過去一年以内にけいれんの既往のある場合。
 - ⑤ 一カ月以内に種痘かポリオ、はしか、BCGの予防接種を受けた場合。
 - ⑥ 現在下痢症状の場合（ポリオの場合）。
- ⑦ 予防接種後、体温は自宅ではかてくること。
- ⑧ 前日接種前日か又は当日に風呂は入れ、接種後一日は風呂に入れないこと。
- ⑨ 高熱、けいれん等の症状を呈した場合に速かに医師の診察を受けること。
- ⑩ 医師の診察を受けた場合には速かに村役場に知らせること。

伝書バトヤア

翁長在、村立坂田保育所から、十二月二日の晩、五羽のハトが突然姿を消してしまいました。このハトは、去った六月に園児生活を楽しくというので、園児の父兄から寄贈されたもので、九〇名の園児と保育がかわいかったハトです。

ちやめつけの園児は、毎朝このハトにエサをやるのを楽しみにしており、そのハトが突然いなくなると心待ちして空を見上げております。そのあどけない園児の姿には心をうたれます。そのハトに心当りのある方は、同保育所か村役場厚生課までお知らせ下さい。

米寿を迎えた老人に郵政大臣より記念品贈呈

このほど、昨年米寿を迎えられた村内六人の老人に郵政大臣より長寿を祝って記念品と賞状が贈呈された。

対象者は、明治二十二年生れの者で次の方々であります。

- △仲宗根太郎（翁長二八七）
- △新川定吉（小那覇八一）
- △安里チル（兼久一〇〇）
- △呉屋起安（与那城三五〇）
- △大城盛徳（我謝一八六）
- △宮平加那（我謝二三五）